

一橋大学

社会科学古典資料センター年報

Bulletin of the Center for Historical Social Science Literature

No. 1

1981. 3

年報の創刊に当って

一橋大学社会科学古典資料センター長

木村増三

一橋大学社会科学古典資料センターは、昭和53年度に専任教官1名の定員をもって発足し、今日まで、専任の細谷新治教授を中心として、図書館職員の兼務と協力のもとに、その業務を行って参りました。

当センターの目的は、「一橋大学附属図書所蔵の社会科学古典資料を集中的に管理運営するとともに社会科学古典資料を収集して、これを研究者の利用に供することにより、社会科学の向上に寄与すること」と定められ、この目的を達成するために、資料の整理・保管、関係情報の提供、資料の調査・収集、その他目的達成に必要な業務を行うことになっております。

このたび当センターでは、上記の情報提供業務の一環として、本年度を手始めに定期的に年報を刊行することを決定し、第1号の発刊準備を進めてきましたが、関係者の御尽力により、ここに第1号をお送りする運びとなりました。年報刊行の趣旨は、当センターの業務についての広報や所管資料の解説などを通じて、広く研究者の便に供するとともに、当センターに対する理解と関心を深めて頂き、有益な助言と協力を賜るためのいとぐちとすることです。

当センターの保管資料は現在、メンガー文庫、ギールケ文庫、左右田文庫、バート・フランクリン文庫、および一般貴重書から成っておりますが、今後さらに増加してゆく予定です。人手不足のため業務の進捗は思うにまかせない状況ですが、関係者一同、目的達成のため鋭意努力する所存でおります。年報の創刊を機に、今後とも一層の御支援をお願いする次第です。